

学科CP	1.人の気持ちを理解し、共感し、気遣いをもって看護を実践する態度を身につける。 2.人の健康と幸福にかかわる広い視野を持ち、多様性を尊重する気持ちを身につける。	3.身体の構造・機能、疾病と病態の理解のもとに看護を実践する能力を身につける。 4.看護実践に必要な基礎的機能を身につける。 5.ライフステージの特徴を踏まえた看護を身につける。 6.保健師として必要な知識と技能を身につける。 7.ひとが学ぶ過程を理解し、教育する力を身につける。 8.社会の状況や人々を取り巻く環境を理解し、看護を実践する能力を身につける。 9.地域の保健、公衆衛生を理解し、保健師を実践する能力を身につける。 10.医療にかかわる法律を遵守し、社会の制度に従って看護を実践する力を身につける。 11.看護にかかわる記録、文書を適切に作成する力を身につける。 12.教育制度、法律に従って、教育を実践する力を身につける。	13.看護の学び方を理解し、新たなことを自ら学ぶ力を身につける。 14.看護にかかわる課題を分析し、問題解決の方法を見つけ、適切な解決に導く力を身につける。 15.それぞれのひとにとって最適な看護の計画を立て実践する力を身につける。 16.看護の研究法を理解し、研究し、根拠（エビデンス）を得る力を身につける。 17.研究倫理、生命倫理に基づく研究の計画、実践、成果公表について理解し実践できる力を身につける。	19.チーム医療を構成する医療職の役割を理解し、協働して医療を行う力を身につける。 19.専門職の立場から適切な選択や判断を他職者が理解できるように説明する力を身につける。 20.情報を伝えるメディアを選択し、適切な文章を作成できる。 21.環境や場に応じて適切な多職種の機能的チームを構築し、主導する力を身につける。 22.環境や場に応じた危機管理を行う力を身につける。 23.自分の役割、専門的知識を、人に合わせて分かりやすく説明し、質問に対して的確に回答できる。 24.他者に働きかけ、健康維持と疾病回復のための行動変容を導くことができる。
------	---	--	---	---

学科DP	1-1 ひとの尊厳を守り、全人的理解の上にヒューマンケアを実践することができる。	1-2 看護専門職として看護の専門性を通じて人と社会に貢献することができる。	2-1 身体の機能や障害、疾病の状態を把握し看護を実践する、知識と技術を身につけている。	2-3 法と倫理を遵守し看護を実践できる。	2-2 ひとと社会の健康と幸福の向上のために、看護の知識と技術を応用できる。	3-1 最新の知識や技術を主体的に学ぶ力を持っている。	3-2 課題を見出し、解決の方法を考え、計画を立て、解決に導ける。	3-3 医療や地域社会の課題を解決するために知識と技術を応用することができる。	4-1 チーム医療や多職種連携における看護の役割を理解し、適切なリーダーシップとパートナーシップを構築することができる。	4-2 保健・医療・福祉その他の多様な立場の人々が協働するチームの中で看護の専門性を発揮することができる。	4-3 他者に働きかけ、行動変容を導く教育力を備える。
------	--	--	--	-----------------------	--	-----------------------------	-----------------------------------	---	--	---	-----------------------------

学科 CP DP	NN-DCP1-1-1	NN-DCP1-2-2	NN-DCP2-1-3 NN-DCP2-1-5	NN-DCP2-3-10 NN-DCP2-3-11 NN-DCP2-3-12	NN-DCP2-1-4 NN-DCP2-2-8 NN-DCP2-1-5 NN-DCP2-3-11			NN-DCP3-1-13	NN-DCP3-2-14	NN-DCP3-2-15	NN-DCP4-1-18	NN-DCP4-1-19 NN-DCP4-2-21	NN-DCP4-3-24
					NN-DCP2-1-6 NN-DCP2-1-7		(再掲) NN-DCP2-1-6 NN-DCP2-2-9	NN-DCP3-3-17			NN-DCP4-2-22	NN-DCP4-1-20 NN-DCP4-3-23	

学年	期	科目	看護の基礎科目群	看護専門科目群
4	後期		健康の理解 遺伝と健康* 先進医療*	看護の統合と発展 ヘルスリテラシー チーム医療 ヘルスプロモーション 医療関係職種連携論 医療安全論 (学校保健活動論#)
	前期		社会と健康の理解 労働衛生関係法規* 保健医療福祉行政論II*#	保健師課程 公衆衛生看護学管理 公衆衛生看護学演習II 公衆衛生看護学実習II 公衆衛生看護学実習I 公衆衛生看護学活動論 公衆衛生生活動展開論I 公衆衛生生活動展開論II 公衆衛生看護学演習I 地域母子保健*# 産業看護論II*# 精神看護学実習 地域・在宅看護実習 地域包括ケア概論 公衆衛生看護学概論# 急性期看護論 慢性期看護論 回復期看護論 終末期看護論
3	後期		医療工學入門* 健康障害の回復と支援*	看護の統合と発展 ヘルスリテラシー チーム医療 ヘルスプロモーション 医療関係職種連携論 医療安全論 (学校保健活動論#)
	前期		看護の基礎 看護倫理 看護援助論III 看護実践方法論	保健師課程 公衆衛生看護学管理 公衆衛生看護学演習II 公衆衛生看護学実習II 公衆衛生看護学実習I 公衆衛生看護学活動論 公衆衛生生活動展開論I 公衆衛生生活動展開論II 公衆衛生看護学演習I 地域母子保健*# 産業看護論II*# 精神看護学実習 地域・在宅看護実習 地域包括ケア概論 公衆衛生看護学概論# 急性期看護論 慢性期看護論 回復期看護論 終末期看護論
2	後期	学習・自己教育の基礎 コミュニケーション論	疾病治療論III(筋骨格系) 疾病治療論IV(小児科系) 疾病治療論V(精神・神経系) 疾病治療論VI(泌尿器・産科系)	看護の統合と発展 ヘルスリテラシー チーム医療 ヘルスプロモーション 医療関係職種連携論 医療安全論 (学校保健活動論#)
	前期	人間形成の基礎	医療経済学* 看護関係法規 社会福祉概論	保健師課程 公衆衛生看護学管理 公衆衛生看護学演習II 公衆衛生看護学実習II 公衆衛生看護学実習I 公衆衛生看護学活動論 公衆衛生生活動展開論I 公衆衛生生活動展開論II 公衆衛生看護学演習I 地域母子保健*# 産業看護論II*# 精神看護学実習 地域・在宅看護実習 地域包括ケア概論 公衆衛生看護学概論# 急性期看護論 慢性期看護論 回復期看護論 終末期看護論
1	後期	哲学* スポーツ健康科学II* ヒューマンケア概論 いのちと倫理 心理学 スポーツ健康科学I* 沼津の歴史と文化* 生活科学*	身体治療論III(筋骨格系) 身体治療論IV(小児科系) 身体治療論V(精神・神経系) 身体治療論VI(泌尿器・産科系)	看護の統合と発展 ヘルスリテラシー チーム医療 ヘルスプロモーション 医療関係職種連携論 医療安全論 (学校保健活動論#)
	前期	看護とキャリア 大学入門講座 情報学基礎 手話入門*	医療栄養学 薬理学 病態学 感染と免疫 疾病治療論I(呼吸・循環器系) 疾病治療論II(消化器・内分泌系)	看護の統合と発展 ヘルスリテラシー チーム医療 ヘルスプロモーション 医療関係職種連携論 医療安全論 (学校保健活動論#)

注) #は、保健師要件の科目、\$は、看護教諭2種取得のために必要な科目

※【DP】 【CP】 表記内容について

NN - DCP ○ - ○ - ○
【DP】 【CP】

【DP】 ディプロマ・ポリシー
【CP】 カリキュラムポリシー